

平成20年度 「泉佐野市ふるさと応援寄附」実績報告書

～心温まるご寄附ありがとうございました～

泉佐野市では平成20年度からスタートしたふるさと納税制度に対応するため、皆さんからいただいた寄附を泉佐野のまちづくりに活用することを目的に、泉佐野市ふるさと応援寄附金要綱を制定し、全国の皆さまにご協力をお願いしましたところ、平成20年度に、のべ92人の方々から6,941,000円のご寄附をいただきました。

この貴重な寄附金は、指定していただいた事業に有効に活用させていただき、ひとを育み、大切にし、愛されるようなまちづくりを推進してまいります。今後とも皆さまのご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

心温まる応援、本当にありがとうございました。

泉佐野市長 **新田谷 修司**



泉 佐 野 市

1. 平成20年度「泉佐野市ふるさと応援寄附」寄附状況について

《 寄附合計 6,941,000円 》

(1) 事業目的別内訳

事業目的		件数	金額
1	教育（施設整備）	72 ※(1)	5,695,000円 ※(200,000円)
	その他（医療のため）		
義務教育施設等の公共施設の整備に要する経費			
2	教育（奨学金）	2	310,000円
	奨学金貸付基金		
経済的理由により修学困難な生徒への奨学金に貸付			
3	福祉	11	328,000円
	福祉基金		
社会福祉活動の推進に要する経費			
4	国際交流	3	545,000円
	国際交流振興基金		
国際交流の振興を図るための経費			
6	その他（芸術文化振興事業）	4	63,000円
	芸術文化振興事業基金		
芸術及び文化の振興に要する経費			
合計		92	6,941,000円

※公共施設整備基金に積み立てた寄附のうち、その他（医療のため）に用途指定のあった寄附金

(2) 地域別内訳

都道府県名	件数	金額
大阪府	83	6,218,000円
和歌山県	5	550,000円
兵庫県	1	30,000円
三重県	1	20,000円
東京都	1	100,000円
佐賀県	1	23,000円
合計	92	6,941,000円

(3) 個人・団体別内訳

区分	件数	金額
個人	92	6,941,000円
団体	0	0円
合計	92	6,941,000円

2. 寄附金の使途について

平成20年度中に皆様から頂いた寄附金は、平成21年3月31日付で各基金へ積み立てを行い、平成21年度に寄附財源を予算化し、ご寄附いただいた皆さまのご希望に沿った事業の財源として有効に活用させていただきました。なお、事業詳細については、「泉佐野市ふるさと応援寄附金活用実績報告書」をご覧ください。

今後も、本市のまちづくりの重要な手段のひとつと*引き続きご寄附いただいた皆さまのご希望に沿えるよう事業の展開を図ってまいります。

3. ご寄附いただいた方へ

1万円以上の寄附をいただいた方に本市の特産品であるタオル（タオルマフラー5本セット）を贈呈いたしました。

今後とも、皆さまの温かいご支援を賜りますとともに益々のご健勝をお祈り申し上げます。

〈お礼の品〉タオルマフラー5本セット



※写真はイメージです

4. 泉佐野市ふるさと応援寄附金のお問合せ先・申出先

大阪府泉佐野市市長公室政策推進課政策推進係

〒590-8550 大阪府泉佐野市市場東1丁目295番地の3

【電話】072-463-1212（内線2422）

【ファックス】072-464-9314

【Eメール】 machi@city.izumisano.lg.jp

【ホームページ】 http://www.city.izumisano.osaka.jp/section/machi/furusatonouzei/furusato_top.html

泉佐野市ふるさと応援寄附金運用実績報告書

ご指定の用途	1. 教育（施設整備）
運用事業の名称	義務教育施設整備事業（公共施設整備基金）
運用事業の概要	<p>（事業の目的） 良好な教育環境の整備を行う。</p> <p>（事業の内容） 老朽化した校舎などの建替え及び耐震改修を行う。</p>
運用の成果	<p>平成 21 年度は3箇所の小中学校の老朽化した校舎・屋内運動場の建替により、安全・安心な教育環境整備を行いました。</p> <p>○第一小学校整備事業 （校舎 R 造 4 階建、校舎・屋内運動場 R 造 2 階建） 事業費 238,611,155 円</p> <p>○第二小学校整備事業（校舎 R 造 4 階建） 事業費 987,777,898 円</p> <p>○佐野中学校整備事業（屋内運動場 R 造 1 階建） 事業費 411,643,912 円</p> <p>事業費合計 1,638,032,965 円のうち 5,495,000 円が公共施設整備基金を財源としています。</p> <p>今後も確実に財政健全化を進めながらも学校教育施設については重点課題に掲げ、本市の将来を担う子どもたちが、良好な教育環境で育めるよう着実に改築・耐震化を進めます。</p> <p>【今後の予定】 平成 23 年度 長坂小学校、長南小学校 の耐震改修などを行う予定です。</p>
事業費	1, 638, 032, 965円
運用した寄附金額	5, 495, 000円
担当部課	市長公室 行財政管理課

泉佐野市ふるさと応援寄附金運用実績報告書

ご指定の用途	1. その他（医療のため）
運用事業の名称	市立病院補助事業（公共施設整備基金）
運用事業の概要	<p>（事業の目的） 病院事業会計の経営基盤強化のため補助を行う</p> <p>（事業の内容） 救急医療の確保や医療機器購入などに対する補助</p>
運用の成果	<p>病院事業会計には建設改良経費（病院建設の地方債の公債費や医療機器購入費など）や、救急医療の確保に要する経費などに対して補助を行っています（補助金総額 1,570,780,000 円）。平成 21 年度は建設改良経費に対して 137,365,000 円補助を行っていますが、そのうちの 200,000 円が公共施設整備基金を財源としています。</p> <p>具体的な医療機器としては中央放射線部に設置する骨密度測定装置（4,951,800 円）の購入経費の一部に活用させていただきました。</p>
事業費	1, 570, 780, 000円
運用した寄附金額	200, 000円
担当部課	市長公室 行財政管理課

泉佐野市ふるさと応援寄附金運用実績報告書

ご指定の用途	2. 教育（奨学金）
運用事業の名称	奨学金貸付事業（奨学金貸付基金）
運用事業の概要	<p>（事業の目的） 経済的理由により修学に困難がある者に対し、奨学金を貸し付けることにより、勉学意欲のある者又は勉学成績の優れた者の教育を受ける機会の拡充を図り、もって有為な人材を育成することを目的とする。</p> <p>（事業の内容） 奨学金は、学校教育法(昭和 22 年法律第 26 号)に規定する高等学校(特別支援学校の高等部を含む。)、中等教育学校の後期課程、高等専門学校、専修学校の高等課程、専門学校(専修学校の専門課程を含む。)、大学及び短期大学に修学する希望があるにもかかわらず、経済的理由により修学が困難な者に対して貸し付けるものとする。</p>
運用の成果	<p>奨学生の在学中の金銭面での不安を解消し、経済的理由で進学希望を残念することがないよう支援を行いました。</p> <p>○平成21年度奨学金貸付の実施結果</p> <p>（新規）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・奨学金貸付申請件数 39件 ・奨学金貸付件数 15件・貸付金額4,500,000円 <p>（継続）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・奨学金貸付件数 27件・貸付金額8,490,000円 <p>引き続き保護者の経済的理由により、進学・通学を断念することがないよう奨学金制度の充実を行います。</p>
事業費	12,990,000円
運用した寄附金額	310,000円
担当部課	学校教育部 人権教育室

泉佐野市ふるさと応援寄附金運用実績報告書

ご指定の用途	3. 福祉
運用事業の名称	ふれあいのまちづくり事業（福祉基金）
運用事業の概要	<p>（事業の目的）市内に居住する地域の高齢者、障害者（児）及び子育て中の親子等自立生活を行う上において、支援を必要とする人々が安心して生活できるよう、地域住民の参加と協力による支えあい、助け合い活動を小地域で行う体制を整備することを目的とする。</p> <p>（事業の内容） 各地区福祉委員会を通じて、地域の参加と協力による支えあい、助け合い活動を行う。</p>
運用の成果	<p>支援を必要とする人々が安心して生活できるよう、地域住民の参加と協力による支えあい、助け合い活動への支援を行いました。</p> <p>○個別支援活動 高齢者・高齢者世帯・障害者等を中心に、定期的な声かけ訪問や、家事支援や介護支援を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 延べ訪問回数：33,847 ・ 延べ訪問人数：55,568 ・ 登録協力員数： 1,391 <p>○グループ支援活動</p> <p>①「いきいきサロン」・・・ボランティアと高齢者・障害者等が共同で活動内容を企画・運営しながら楽しい仲間づくり等を行いました。</p> <p>②「世代間交流」・・・地域の高齢者等から昔からの遊びを教わったり、昔の生活の話聞くこと等により、子どもと高齢者等の交流を図りました。</p> <p>③「子育てサロン」・・・子育て中の親子等が集まり、ボランティアと一緒に子育てについての交流活動や相談活動などを行いました。</p> <p>【実施回数：1,184】【参加者：28,598】【ボランティア等：9,348】等</p> <p>引き続き地域住民の参加と協力による支えあい、助け合い活動を小地域で行う体制の整備を行います。</p>
事業費	11,094,000 円
運用した寄附金額	328,000 円
担当部課	健康福祉部 障害福祉総務課

泉佐野市ふるさと応援寄附金運用実績報告書

ご指定の用途	4 国際交流
運用事業の名称	国際交流推進事業（国際交流振興基金）
運用事業の概要	<p>（事業の目的）</p> <p>世界の迎都（ゲート）として、友好都市との交流を推進する。</p> <p>友好都市：中国上海市徐匯区 中国上海市宝山区 オーストラリア・クイーンズランド州サンシャインコースト</p> <p>（事業の内容）</p> <p>本市を訪問された友好都市代表団との交流イベントを実施する。</p> <p>市民との交流機会を図ることで、両市の友好関係を深める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 友好都市代表団との交流 ・ 泉州国際市民マラソン友好都市ランナーとの交流など
運用の成果	<p>※平成 21 年度は新型インフルエンザの影響により、泉州国際市民マラソンへの友好都市ランナーの招致を見送ったため、交流イベントを実施できなかった。</p> <p>※平成 20 年度に寄附いただいた資金（545,000円）については、平成 22 年度へ繰り越しいたしました。</p>
事業費	
運用した寄附金額	
担当部課	市長公室 自治振興課

泉佐野市ふるさと応援寄附金運用実績報告書

ご指定の用途	6.その他（芸術文化振興事業）						
運用事業の名称	社会教育団体支援事業（芸術文化振興事業基金）						
運用事業の概要	<p>（事業の目的） 泉佐野市の芸術・文化の振興に要する経費に対して、援助を行う。</p> <p>（事業の内容） 泉佐野市市民オーケストラの楽器の購入等</p>						
運用の成果	<p>演奏活動を通じて音楽の楽しさや素晴らしさを身近に感じていただけるよう、市民に開かれたオーケストラをめざす活動への援助を行いました。</p> <p>○平成21年度の楽器の購入状況</p> <table style="margin-left: 40px;"> <tr> <td>件数</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>購入楽器</td> <td>ヴァイオリン 弓</td> </tr> <tr> <td>購入金額</td> <td>22,500円</td> </tr> </table> <p>の購入に活用されました。</p> <p>平成20年度の寄付金 63,000円から平成21年度に活用した22,500円を差し引いた残額40,500円は、平成22年度に繰り越しいたしました。</p> <p>引き続き本市の芸術・文化の振興に対する取り組みに支援を行います。</p>	件数	1件	購入楽器	ヴァイオリン 弓	購入金額	22,500円
件数	1件						
購入楽器	ヴァイオリン 弓						
購入金額	22,500円						
事業費	2,671,000円						
運用した寄附金額	22,500円						
担当部課	社会教育部 社会教育課						

泉佐野市ふるさと応援寄附金



泉佐野市では平成20年度からスタートしたふるさと納税制度に対応するため、皆さんからいただいた寄附を泉佐野のまちづくりに活用することを目的に、泉佐野市ふるさと応援寄附金要綱を制定いたしました。

全国の皆さんから寄せられた寄附金を基に、魅力ある泉佐野のまちづくりに活用させていただきます。皆様のご協力、よろしくお願いいたします。

■ふるさと納税とは■

「ふるさと納税」制度とは、地方公共団体（都道府県・市区町村）に対する寄附をした場合の寄附金控除が大幅に拡充されたことです。

都道府県・市区町村に対して寄附をした場合、原則として所得税とあわせて寄附金合計額から5,000円を差し引いた額が一定限度まで控除されます。

（※税控除を受ける場合は、確定申告等が必要です。）

この寄附金控除は、自分や家族の生まれ育った「ふるさと」に限らず、どの都道府県・市区町村に対する寄附でも対象となります。

泉佐野市民の方が泉佐野市に寄附をされた場合でも対象となります。なお、平成20年1月1日以降の寄附金が対象です。



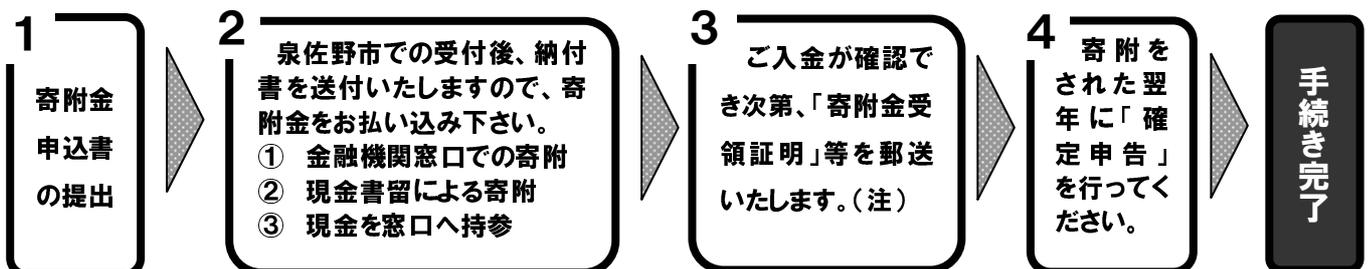
10,000円以上の寄附をいただいた方には、本市の特産品を贈呈いたします。（写真はイメージです。）

※特産品は、予告なく変更となる場合があります。

※1暦年につき1回限りとさせていただきます。

「ふるさと応援寄附金」にご賛同くださる方は、まずお申込みください！

泉佐野市役所政策推進課（裏面に記載）へご連絡いただければ、「寄附申込書」を郵送等により送付させていただきます。市公式ホームページ（<http://www.city.izumisano.osaka.jp/>）からダウンロードすることもできます。



（注）「寄附金受領証明書」は、寄附金控除を受けるための確定申告等の手続きの際に必要となりますので、大切に保管してください。

寄附のお手続き

【1】寄附申込書の提出

まず、「寄附申込書」により、寄附の申し込みをお願いします。〈泉佐野市政策推進課まで〉
寄附申込書を必要とされる方には、郵便・ファクシミリ・電子メールでお送りいたします。
泉佐野市のホームページ (<http://www.city.izumisano.osaka.jp>) からでもダウンロードできます。

【2】寄附金の払込方法

寄附金は、「納付書」「現金書留」「現金を窓口へ持参」のいずれかの方法で納付をお願いします。

①納付書の場合〈振込み手数料は無料です〉

納付書を送付させていただきます。下記の最寄の金融機関で入金をお願いします。

【ご利用いただける金融機関】

泉州銀行・三井住友銀行・りそな銀行・三菱東京UFJ銀行・紀陽銀行・みずほ銀行・近畿大阪銀行
関西アーバン銀行・南都銀行・みずほ信託銀行・住友信託銀行・三菱UFJ信託銀行・大阪信用金庫
商工組合中央金庫・近畿労働金庫・きのくに信用金庫・大阪泉州農業協同組合

②現金書留の場合〈利用料金をご負担ください〉

現金書留の封筒に、寄附申込書と現金を同封し、泉佐野市役所政策推進課あてに郵送ください。

③現金を窓口へ持参の場合

寄附申込書と現金を泉佐野市役所4階政策推進課までご持参ください。

【3】税額控除の手続き

後日、寄附金受領証明書を送付いたします。寄附をされた翌年の確定申告の手続きに必要ですので、紛失しないように保管をお願いします。
確定申告期限内に住所地等の税務署に申告をしてください。

※「振り込め詐欺」にご注意ください！

泉佐野市ではご寄附の手続きのために、電話で口座を指定しての振込み請求や手数料の支払い、ATM（現金自動預払機）の操作をお願いすることは絶対ありません。

※ 個人情報の取扱いについて

寄附申込書に記載されている個人情報は、厳重に管理し、漏えい、滅失、改ざん、損傷の防止、その他個人情報の適正な管理を行います。

また、泉佐野市個人情報保護条例等に従って取り扱いたします。

【泉佐野市ふるさと応援寄附に関する問い合わせ・お申込先】

泉佐野市市長公室政策推進課

〒598-8550 大阪府泉佐野市市場東1丁目295番地の3

電話 072-463-1212(内線2421~2422)

FAX 072-464-9314

E-Mail machi@city.izumisano.lg.jp

詳しくは、市のホームページでも案内しています

http://www.city.izumisano.osaka.jp/section/machi/furusatonouzei/furusato_top.html

タオルマフラー

【泉州タオルの特徴】

- ・明治 20 年から続く大阪タオル産地では、吸水性が良く清潔で肌触りも良い後晒しタオルの製法を一貫して守り通してきました。
- ・タオルに使う綿糸は織りやすくするためにノリやロウなどで強さを増し、すべりをよくしますが、そのため織りあがったままのタオル地は水をはじき、吸水性の悪いものです。泉州の後晒製法とは織った後で晒しの工程が入るので、ノリは洗い流され吸水性の良いタオルとなります。
- ・泉州の後晒タオルは水をよく吸いとります。
吸水性はタオルに最も求められる機能です。後晒しタオルは“綿”本来の優れた吸水性をいかした、最も理想的なタオルです。
- ・泉州の後晒タオルはとても清潔です。
後晒しの工程でいろんな汚れを洗い落とし、滅菌されてとても清潔です。おろしたてのタオルも安心してそのままご使用いただけます。
- ・泉州の後晒タオルは肌触りがやさしい。
タオルに触れるだけでふんわりしたやわらかさ、心地よさを実感していただけます。肌の弱い方も、やさしい肌触りにきっと満足いただけます。
このタオルマフラーは、泉州タオルの特徴である後晒製法で染めているので吸水性抜群です。スポーツやジョギングなどの汗ふきにお使いください。また、夏には首筋の日焼け防止に、冬にはマフラーとして保温にお使いください。

《日本製 綿100%》

